

第四十六回
參議院文教委員會會議錄

昭和三十九年五月二十六日(火曜日)
午前十一時十一分開会

出席者は左のとおり。
委員長 中野 文門君

出席者は左のとおり。
委員長 理事 中野 文門君
○加瀬完君 研修の責任者は任命権者
であり、研修の当事者は教育関係者で
あるわけですね。すると、何を研究を
させるか、あるいは何を研究したいか

出席者は左のとおり。
委員長 理事 中野 文門君
北畠 教真君 ○加瀬完君 研修の責任者は任命権者
二木 謙吾君 であり、研修の当事者は教育関係者で
吉江 勝保君 あるわけですね。すると、何を研究を
させるか、あるいは何を研究したいか
ということは、それぞれ教育委員会な
り教育関係者自身がつまびらかなはず

出席者は左のとおり。
委員長 理事 委員
中野 文門君
北畠 教真君
二木 謙吾君
吉江 勝保君
小林 武君
○加藤完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいかということは、それぞれ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの意向を明らかにい

		出席者は左のとおり。
委員長	理事	出席者は左のとおり。
中野 文門君	北畠 教真君	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者
二木 謙吾君	二木 勝保君	であり、研修の当事者は教育関係者で
吉江 小林 武君	吉江 小林 武君	あるわけですね。すると、何を研究を
植木 光教君	植木 光教君	させるか、あるいは何を研究したいか
木村篤太郎君	木村篤太郎君	ということは、それぞれ教育委員会な
（監督）	（監督）	り教育関係者自身がつまびらかなはず
です。どう、う方去され成や因へ开	だということになりますね。教育会館	だということになりますね。教育会館
		にしても、これらの意向を明らかにい
		たしませんければ、効率のある研修と
		いうもの進めることができないわけ
		です。どう、う方去され成や因へ开

出席者は左のとおり。
委員長 理事
中野 文門君
北畠 教真君
二木 謙吾君
吉江 勝保君
小林 武君
植木 光教君
木村 鶴太郎君
篠森 順造君
野本 品吉君
次山 長吉君
○加藤完君 研修の責任者は任命権者
であり、研修の当事者は教育関係者で
あるわけですね。すると、何を研究を
させるか、あるいは何を研究したいか
ということは、それぞれ教育委員会な
り教育関係者自身がつまびらかなはず
だということになりますね。教育会館
にしても、これらの意向を明らかにい
たしませんければ、効率のある研修と
いうものを進めることができないわけ
です。どういう方法で地域や個人の研
修要望というものを察知をいたします
か、この点をまず。

			出席者は左のとおり。
		委員長	理事
	中野	文門君	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者
米田	北畠	教真君	であり、研修の当事者は教育関係者で
秋山	二木	謙吾君	あるわけですね。すると、何を研究を
秋山	吉江	勝保君	させるか、あるいは何を研究したいか
野本	小林	武君	ということは、それぞれ教育委員会な
野本	植木	光教君	り教育関係者自身がつまびらかなはず
秋山	木村篤太郎君		だということになりますね。教育会館
秋山	笠森	順造君	にしても、これらの意向を明らかにい
秋山	品吉君		たしませんければ、効率のある研修と
秋山	長造君		いうものを進めることができないわけ
秋山			です。どういう方法で地域や個人の研
秋山			修希望というものを察知をいたします
秋山			か、この点をます。
完君	○政府委員(福田繁君)	教育会館がみ	ずから行なう研修会等の業務につきま
加瀬君			

出席者は左のとおり。
委員長 理事
中野 文門君
北畠 二木 吉江 小林 武君
教真君 謙吾君 勝保君
植木 光教君 木村篤太郎君 順造君 品吉君
木村篤太郎君 笹森 野本
植木 加瀬 秋山 長造君
米田 柏原 ヤス君 常子君
完君
○政府委員(福岡繁君) 教育会館がみ
ずから行なう研修会等の業務につきま
しては、できる限りおつしやるよう
教育界等の希望するような研修会を実

出席者は左のとおり。	委員長	理事	中野	文門君
國務大臣 文部大臣	北畠 教真君	二木 謙吾君	吉江 勝保君	植木 光教君
灘尾 弘吉君	小林 武君	木村篤太郎君	秋山 長造君	加瀬 完君
赤松 常子君	笹森 順造君	野本 品吉君	秋山 煎君	米田 柏原
○政府委員(福田繁君)	教育会館がみずから行なう研修会等の業務につきましては、できる限りおつしやるようになります。どういう方法で地域や個人の研修要望というものを察知をいたしますか、この点をます。	教育界等の希望するような研修会を実施することが望ましいわけでございます。したがいまして、そういう場合	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいかということは、それぞれ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの方意向を明らかにいたしませんければ、効率のある研修といふものを進めることができないわけです。どういう方法で地域や個人の研修要望というものを察知をいたしますか、この点をます。	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、何を研究したいかなどは、それこそ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの方意向を明らかにいたしませんければ、効率のある研修といふものを進めることができないわけです。どういう方法で地域や個人の研修要望というものを察知をいたしますか、この点をます。

		出席者は左のとおり。
委員長	理事	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者
事務局側		であり、研修の当事者は教育関係者で
國務大臣	中野 文門君	あるわけですね。すると、何を研究を
文部大臣		させるか、あるいは何を研究したいか
政府委員		ということは、それぞれ教育委員会な
文部大臣官房長 等教育局長		り教育関係者自身がつまびらかなはず
福生	北畠 教真君	だということになりますね。教育会館
灘尾	二木 謙吾君	にしても、これらの意向を明らかにい
蒲生	吉江 勝保君	たしませんければ、効率のある研修と
芳郎君	小林 武君	いうものを進めることができないわけ
繁君	植木 光教君	です。どういう方法で地域や個人の研
	木村篤太郎君	修希望というものを察知をいたします
	笹森 順造君	か、この点をます。
	野本 品吉君	○政府委員(福田繁君) 教育会館がみ
	秋山 長造君	ずから行なう研修会等の業務につきま
	加瀬 完君	しては、できる限りおっしゃるよう
	米田 煎君	に教育界等の希望するような研修会を実
	柏原 ヤス君	施することが望ましいわけでございま
	赤松 常子君	す。したがいまして、そういった場合
		におきましては、教育界の意向を反映
		させるという意味合いにおきまして、
		評議員等の中には教育界の関係者も若
		干名これに加わる、あるいはまたその
		他の学識経験者などの参加を願いまし

			出席者は左のとおり。
		委員長	理事
	中野	文門君	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいかということは、それぞれ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの意向を明らかにいたしませんければ、効率のある研修というものを進めることができないわけです。どういう方法で地域や個人の研修希望というものを察知をいたしますか、この点をます。
事務局側	北畠	教真君	○政府委員(福田繁君) 教育会館がみずから行なう研修会等の業務につきましては、できる限りおっしゃるようにお施することが望ましいわけでございます。したがいまして、そういった場合におきましては、教育界の意向を反映させるという意味合いでおきまして、評議員等の中には教育界の関係者も若干名これに加わる、あるいはまたその他の学識経験者などの参加を願いまして、できる限り広くこの教育界等の意向を参酌をして運営されることが望ま
常任委員会専門員	二木	謙吾君	
事務局側	吉江	勝保君	
文部大臣	小林	武君	
政府委員	植木	光教君	
文部大臣	木村篤太郎君		
文部大臣官房長	笹森	順造君	
文部省初等中等教育局長	野本	品吉君	
工渠	秋山	長造君	
英司君	加瀬	完君	
	米田	熏君	
	柏原	ヤス君	
	赤松	常子君	
	灘尾	弘吉君	
	蒲生	芳郎君	
	福田	繁君	

			出席者は左のとおり。
委員長	理事		
中野	文門君	○加瀬完君	研修の責任者は任命権者
北畠	教真君	であり、研修の当事者は教育関係者で	あるわけです。すると、何を研究を
二木	謙吾君	させるか、あるいは何を研究したいか	ということは、それぞれ教育委員会な
吉江	勝保君	り教育関係者自身がつまびらかなはず	だということになりますね。教育会館にい
小林	武君	たしませんければ、効率のある研修と	しても、これらの意向を明らかにい
植木	光教君	いうものを進めることができないわけ	です。どういう方法で地域や個人の研
木村篤太郎君		修希望というものを察知をいたします	修希望といふものを察知をいたします
笹森 順造君		か、この点をます。	か、この点をます。
野本 品吉君		○政府委員(福田繁君)	○政府委員(福田繁君)
秋山 長造君		教育会館がみ	教育会館がみ
加瀬 完君		ずから行なう研修会等の業務につきま	ずから行なう研修会等の業務につきま
米田 煉君		しては、できる限りおっしゃるよう	しては、できる限りおっしゃるよう
柏原 ヤス君		教育界等の希望するような研修会を実	教育界等の希望するような研修会を実
赤松 常子君		施することが望ましいわけでございま	施することが望ましいわけでございま
灘尾 弘吉君		す。したがいまして、そういった場合	す。したがいまして、そういった場合
蒲生 芳郎君		におきましては、教育界の意向を反映	におきましては、教育界の意向を反映
福田 繁君		させるという意味合いにおきまして、	させるという意味合いにおきまして、
文部大臣官房長		評議員等の中には教育界の関係者も若	評議員等の中には教育界の関係者も若
文部省初等中 教育局長		干名これに加わる、あるいはまたその	干名これに加わる、あるいはまたその
事務局側		他の学識経験者などの参加を願いまし	他の学識経験者などの参加を願いまし
常任委員	工栄 英司君	て、できる限り広くこの教育界等の意	て、できる限り広くこの教育界等の意
会専門員		向を参酌をして運営されることが望ま	向を参酌をして運営されることが望ま
立教育会館法案(内閣提出、衆議 送付)		しいわけであります、具体的な事項に	しいわけであります、具体的な事項に
日の会議に付した案件		つきましては、やはり教育委員会その	つきましては、やはり教育委員会その
		他の教育機関の意向も十分込んで運営	他の教育機関の意向も十分んで運営
		されることになろうかと思うのであり	されることになろうかと思うのであり

出席者は左のとおり。	委員長 理事	中野 文門君
○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいかということは、それぞれ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの意向を明らかにいたしませんければ、効率のある研修というものを進めることができないわけです。どういう方法で地域や個人の研修希望というものを察知をいたしますか、この点をます。	北畠 教真君 二木 謙吾君 吉江 小林 勝保君 植木 光教君 木村篤太郎君 笹森 順造君 野本 品吉君 秋山 長造君 加瀬 完君 米田 熏君 柏原 ヤス君 赤松 常子君 灘尾 弘吉君 蒲生 芳郎君 福田 繁君 文部大臣官房長 等教育局長 事務局側 政府委員 文部大臣 文部大臣 文部省初等中 等教育局長 事務局側 会専門員 常任委員 工栄 英司君 員長(中野文門君) 日の会議に付した案件 立教育会館法案(内閣提出、衆議 送付)	委員 員長 事務局側 会専門員 常任委員 工栄 英司君 事務局側 政府委員 文部大臣 文部大臣 文部省初等中 等教育局長 事務局側 会専門員 常任委員 工栄 英司君 員長(中野文門君) 日の会議に付した案件 立教育会館法案(内閣提出、衆議 送付)
○加瀬完君 この教育会館で行なう講習会、研究集会等は、文部省の代行で	○政府委員(福田繁君) 教育会館がみずから行なう研修会等の業務につきましては、できる限りおっしゃるようにお施することが望ましいわけでございます。したがいまして、そういった場合におきましては、教育界の意向を反映させるという意味合いでおきまして、評議員等の中には教育界の関係者も若干名これに加わる、あるいはまたその他の学識経験者などの参加を願いまして、できる限り広くこの教育界等の意向を参酌をして運営されることが望ましいわけであります。具体的な事項につきましては、やはり教育委員会その他教育機関の意向も十分込んで運営されることにならうかと思うのであります。	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいかということは、それぞれ教育委員会なり教育関係者自身がつまびらかなはずだということになりますね。教育会館にしても、これらの意向を明らかにいたしませんければ、効率のある研修というものを進めることができないわけです。どういう方法で地域や個人の研修希望というものを察知をいたしますか、この点をます。
○加瀬完君 この教育会館で行なう講習会、研究集会等は、文部省の代行で	○政府委員(福田繁君) 教育会館がみずから行なう研修会等の業務につきましては、できる限りおっしゃるようにお施することが望ましいわけでございます。したがいまして、そういった場合におきましては、教育界の意向を反映させるという意味合いでおきまして、評議員等の中には教育界の関係者も若干名これに加わる、あるいはまたその他の学識経験者などの参加を願いまして、できる限り広くこの教育界等の意向を参酌をして運営されることが望ましいわけであります。具体的な事項につきましては、やはり教育委員会その他教育機関の意向も十分込んで運営されることにならうかと思うのであります。	○加瀬完君 研修の責任者は任命権者であり、研修の当事者は教育関係者であるわけですね。すると、何を研究をさせるか、あるいは何を研究したいか

のとおりに受け取つてよろしゅうござりますか。

○政府委員(福田繁君) その点につきましては前回も申し上げましたように、教育会館として行ないます事業はあくまでサービス的な事業でございます。したがいまして、文部省の代行とか、そういう趣旨のものではなく、自ら的にこれは行なうものでございます。

○加瀬完君 したがいまして、一般の教職員というものが対象になるわけでございますが、それらの研修の要望といふものを聞くためには、評議員等の選定で考慮をするという御説明がございましたが、その評議員の問題でございますが、どういう基準で行なうことになりますか。「教育会館の業務の適正な運営に必要な学識経験を有する者」ということがありますが、これはどういうことですか。それから、先ほどの御説明の、現場の先生方からもどるということをございますが、それは、教育会館の業務の適正な運営をするためには現場の教職員の意見といふものが必要だと、こういう御認定だと思いますが、その比率関係などはどのように大体御構想をお持ちでございますか。

○政府委員(福田繁君) 評議員につきましては、第十九条に、御指摘のように、「教育会館の業務の適正な運営に必要な学識経験を有する者のうちか

おられる方々に評議員になつていただきたいと思つておりますが、その大体の考え方といたしましては、もちろん教育関係の小学校、中学校、高等学校等の教職員の関係の方々から、何名かの評議員をお願いするということも考えております。また、都道府県や市町村等の教育委員会等の関係の方々から、りっぱな評議員をお願いするといふことも考えておるわけでございます。そのほか学識経験者、あるいは特に教育関係の学識経験者、あるいは言論、文化関係の学識経験者というような、できる限り各方面の有識者にこれに加わつていただきたいと考えておりますが、別に何名というようにはまだ考えていないわけでございます。二十名の中では、そういう分野から評議員にできるだけりっぱな方々を御選考いただきたい、かように考えております。

を提供するということが主目的だということをございますれば、その施設を利用し、資質の向上のために学習する側の一般職員の意見というものが、やはり運営の上では取り上げられてこなければ効果があがらないということになるわけですね。そこで、小学校、中学校、高等学校といふお話をございましたが、それは小学校の代表として校長さん方、高等学校を代表して高等学校の校長会の代表といったような形ではなくて、そういうふうな方々も入るかもしれませんけれども、実際、一般的の、これを一番利用する必要があり、また利用しなければならない一般職員の代表といふものが評議員の中に組み入れられると考えてよろしゅうございますね。

四五二

いわけですから、講習を受けたり、施設を利用したりする大部分というものは、一般的の管理職以外の教職員に限れば多いわけですから、そういう意味合いで、管理職ではない教職員の代表も評議員の構成の中には当然、入れると解釈してよろしくうござりますね。

○政府委員(福田繁君) 教職員の代表という考え方ではないわけでございまして、これはこの前も申し上げたわけでございますが、あくまでも個々の個人で評議員に適当な方がいらっしゃるかどうかということが選考の基準にならなければならない。そういうことは率直に言つていただいてけっこうです。

るわけでござります。そういう考え方で適當な人がいらっしゃれば、これは当然参加し得るものだと考えます。そういう観点から私どもは評議員会の構成を考えておるわけであります。

ないということではないのです。管理職からることもあり得ましょうが、教育会館を利用する大部分のものは一般の教職員関係が多いですから、一般的の教職員関係の意見がスムーズに表現されるような評議員会でなければ効果はないわけですから、そこで、一般の職員の代表というものは当然評議員の中にも入り得るものだと解してよろしいであろう、一方的に職員だけをとるといつてはいるんじゃない、職員の意見が反映できるような構成をお考え

○政府委員(福田繁君) 広く教育界の意見が聞けるような構成を考えたいと思つております。

○加瀬完君 的確に言つてくださいよ。一般的の教職員の代表という者がいなければ、これは広く意見を聞くことにはならないでしよう。だから、お入れになるならお入れになる、お入れにならないということであれば、私たち

考えております。これは入れるか入れないかという式の御質問になりますとお答えしにくいのであります。心持ちおいたしては、いま申し上げたところであります。なお、この教育会館の運営に当たりましては、評議員二十人だけでいいのだというふうなものではないと思います。あくまでも教職員にとって教職員のためになるような施設としてこれが運営せられなければならぬと思います。したがいまして、評議員という形だけでなく、この会の運営については常に関係者の向きの要望、希望、希望というふうなものを考え方つゝやつてまいりという心がまえでいかなければ遊離したものになってしまい、やはり教職員の方々にわれわれの会館だという、こういう心持ちになつてもらうことが大事だと思いますので、そういう心持ちで運営してもらいたいと思つております。具体的な評議員の人選につきましては、何の代表というふうでは選考できないと思いますけれども、現場の人たちの気持ちは十分反映せられるようなことにおいて、私ども選考上注意してまいりたいと考えております。

ういう機関に何人かの者を代表として迎える、この態勢といふものはぜひこれはお約束をしていただかなければならぬものだと私は思うわけです。それは、何も特定の団体の代表だけで評議員会を開成しろということを言つておるわけではございませんで、先ほども指摘いたしましたように、共済組合の運営委員会のようなものを準じて、各方面からそぞれぞれの代表を評議員会の中に入れるという原則というものをお認めいただきたいと思うわけであります。

○国勝大臣（難尾弘吉君） 共済組合の場合とは場合が違うだらうと私は思うのですが、そういうことだと思います。この役員のうち、評議員の構成につきましては、現場の方々の気持ちなり、あるいは状況なりといふものについて十分認識を持つた人にも入つてもらわなければならぬ、このようを考える次第でございます。この程度で御了承いただきたいと思います。

○加瀬完君 この教育会館では講習や研究集会が主催されるわけであります。文部省の場合は文部省設置法によりまして、その権限の行使は法律に従つてなきなければならないと規定されておりまするから、もちろん、たとえば教育基本法の八条、九条、十条といふものは破ろうたつて文部省としてはないわけにはいかない、こういう法律の保障がございます。それが教育会館の場合はそういう保障というのは何もない、これは教育会館において行なわれる講習や研修というものが、政治的な中立あるいは宗教的中立というものを確実に守らなければならぬといふ保障がございますか。

○國務大臣（難尾弘吉君）　この教育会館は、申すまでもなく國立の教育会館でございます。その國立の教育会館が事業をやつてしまります上において、憲法あるいは教育基本法に沿わないような運営というものはないでござるとの私は思うのであります。そういう意味合いでおきまして、また、文部大臣は監督権を持つておるわけでござります。この教育会館が、基本法であるとか、そういうたらなもののが趣旨に反するようなもんも運営が行なわれる所では、その監督権者としまして適當な処置をとつてまいらなければなりません。さような心配はひとつないようにお願いいたしたい。

○加瀬元君　教育会館法では十三条に役員の解任が規定されております。その二項に職務上の義務違反が規定されておりますが、この義務違反の内容といふものは、教育会館法では明瞭になつております。あるいは役員たるに適しないと認めるときはやはり解任ができることになつております。そこで、いま文部大臣の御説明をそんたくいたしますと、政治的中立や宗教的中立等、教育基本法や学校教育法等で認められておりますような、当然守らなければならぬ場合は、これは役員たるに適しない、あるいは義務違反が行なわれたとして解任または処罰をされるものだと考えてよろしくございますか。

ふさわしくない人であります。そのときにはその事態に応じまして適当な処置をとつてまいらなければならぬと思います。責任をする事態であれば責任をするにやぶさかではありません。

○加瀬完君 ですから、政治的中立、宗教的中立を侵した場合は当然役員たるに適しない、あるいは義務違反をしたものと御認定をなさつて、それぞれの処分をなさると解してよろしゅうござりますね。

○國務大臣(灘尾弘吉君) 政治的中立とか、あるいは、宗教的云々といふことは教育基本法にあることばでござります。教育基本法に反するようなことをいたしております場合には、これは適當な人といえないのでござります。それに応じた処置をとつてまいりたいと思います。

○加瀬完君 それならば、そういうことが行なわれないだらうということではなくて、そういうことはしようとしてもできないという規定を、教育会館法にも明瞭に、義務違反の内容なら内容に加えておくべきではないですか。

○國務大臣(灘尾弘吉君) 御趣旨はよくわかりますが、そのようなことはあらためて規定するまでもないと、かようには思つております。

○加瀬完君 そうであるならば、政治的中立を侵したか侵さないかといったようなことは非常に抽象的な議論になります。ただいま文部大臣が監督権を持つておりますけれども、文部大臣個人の考え方で可といふ場合もあれば不可といふ場合も出でまいります。これは、時によつて可であつたり、時によつて不可であつたりしては、これは

監督の基準というものが非常に不明瞭になつてゐるわけであります。思想教育はいたしませんと言つておりますけれども、思想教育をしてはならないといふ規定も加わつておらないことは、一番、教育会館における心配が、教師に対して特別に何か教育をするのではなくかという疑念でござりますので、そういう点もないといふことを、これは何よりも先に規定の中に位置づけられなければ私はおかしいと思うのです。あるいはこれは会館の運営規定、あるいは文部省の省令等で、文部大臣が監督をする基準というものを制定しようというお考えがございますか。

えないわけでござります。始終、会館の運営状況というものは見守つてしまいたいと思うのです。必要に応じまして大臣としての処置をとつていけばよろしいのぢやないか、このように現在は考えております。

○加瀬完君 文部省の文教行政ですら教育基本法や学校教育法等いろいろきめられておることで、文部省としてはそれを越えて行ない得ない条件といふものをきびしく制定をされておるわけであります。ましてや第三者の特殊法人の動きというものは、文部省のようにこれは法律的にのみ運営されるとは限りません。そうなつてくれれば、文部省にはめられたワクよりもさらにきびしい、教育基本法等の精神というものは初めから教育会館そのものの運営の中にはめ込んでおかなければおかしいと思うのです。文部省自身が十二分に監督するというようなその監督規定といふものを文部省の省令か何かで明らかにしてもらいたい。そうでないならば、教育会館の運営規則そのものをもつと法律で——法律の内容に盛れなかつたとすれば運営の基準というものを明らかにしてもらわなくては心配の種は断ち切れないと思うのです。何にも基準がございませんでは、先ほども申し上げましたが、灘尾さんが文部大臣のときはまあ心配がない、ああお答えをしておるのだからと思いまして、文部大臣がおかわりになつても、灘尾さんと同じような方針で、同じような基準で監督ができるという保障はどこにもないわけです。それでは法律的に非常にたよりない。もつとその辺を、教育の政治的中立性は侵しません、あるいはここで特殊な教師の思想

教育などはいたしませんということは、どこかでエチックされなければならぬ問題だと思うわけです。この点は局長、どうですか。何かいま御相談しておるようですが、それとも、そういう腹案がおりなんですか、これは遊びしくしていただかなければ、やすやすとはどうも見通ございませんよ。

○政府委員(福田繁君) 先ほど大臣からお答え申し上げましたように、この法人 자체としては文部大臣の監督下にある法人でございますので、その業務に不適正な運営が行なわれるという点とあれば、文部大臣が自分の監督権を通じてこれを是正していくというやり方が一番本来の筋であろうと考えております。御心配の点はよく私ども了解いたしておりますが、そもそもこの教育基本法そのものは、一々これを引用するまでもなく、先ほど大臣がおつしやつたとおりに、教育関係におきましてはこれは根本の法規としてこの趣旨が適用されるものと考えておるわけでございます。したがって、一々この教育委員会等あるいはその他の教育機関におきましてもこれを引用いたしておりませんが、これは当然のことだという観点であろうと解釈をいたしております。したがいまして、教育会館自体が業務をみずからやる場合には、もちろんこれは自主的にやるわけでございますが、この自主的にやる場合におきましても、当然にこの教育基本法の精神にのつとつこれが運営されるということは申すまでもなく当然のことでございます。もしこれにはずれるということがあれば、先ほど申し上げましたように、文部大臣の監督によつてこれを是正していく、こういう方法

は、一般的の教育委員会などの教育機関がもしも間違った運営を行なった場合には矯正措置があるのと同じことではないかと、こういうように考えておるわけだと思います。

○加瀬完君 それでは、こう了解してよろしくうござりますね。政治的中立性や宗教的中立性を侵すような行事が教育会館で行なわれたり、あるいは特定の思想教育を教職員関係にしたりするようなことはあり得ない。もしあつたとすれば、それは文部大臣においてそれぞれの関係者に対しても二分なる監督権の行使をするものだ、そう解してよろしくうござりますね。

○政府委員(福田繁君) そのとおりだと思ひます。

○加瀬完君 次に、この教育会館は唯一の国の教育研修の場になるわけでございますから、ここで繰り返される教養講座が、かつての国民精神研究所のように、国体の明徴でありますとか、あるいは皇國史觀でありますとか、あるいは道徳教育における徳目主義といつたようなものを掲げて何度も講習をいたしておりますと、教育界に一つの教育会館方式というものが生まれてくるおそれがあります。そういう教育会館方式、教育会館の教育の考え方といったようなものも、ここでつくり出す目的は全然ないと解してよろしくうござりますね。

○政府委員(福田繁君) そのとおりに運営されるべきものだと考えております。

○加瀬完君 しかし、この保障はこの教育会館法の中にも、あるいはどこにも現状においてはいいわけですね。ただ、文部省の良心的監督というものを

期待する以外にはないわけですね。これらはやはり運営規定なり何なりで目的をはつきりと定むべきじゃないですかね。あるいは運営基準として幾つかの条件というものを定むべきじゃないですか。そういう御考慮はございませんか。

○政府委員(福田繁君) そういうことにならないように、評議員会等において十分やはり運営の方針については官庁の諮詢に応じて御相談しながらいくというのがこの方式でございます。したがいまして、私どもはそういう御指摘のありますような非常識な運営ということはあり得ないと考えております。

○加瀬完君 ならないようにするためには、法律できちんと規定をすべきです。法律で規定が現状においては手おくれだというならば、政令なり規則なりでやはり定むべきじやありませんか。それを運営の基準も定めないで、評議員に勝手なことを言わせ勝手なことを相談してもいいようなことをさせておいて良識に待つといったって、それは法制定の手続としてははなはだ不備じゃないです。

○政府委員(福田繁君) 御指摘の点はよくわかるのでございますが、教育会館は毎年度の予算なり事業計画というものをつくりまして、それに基づいて文部大臣の認可を受けて事業を行なうわけでございます。したがつて、毎年実施をいたします事業について、十分、文部大臣がその辺は監督をいたしまして実行するわけでございますから、もしさうなおそれがあるとすれば、十分、文部大臣からその点を注意をして遺憾のないようにやるという

のがたてまえでございます。そのいつた意味での監督は十分できるような仕組みになつております。

○加瀬完君 これからでも文部省令なり教育会館の運営規定なりで幾らでもつくられるじやありませんか。種々問題になつておるような点は、万遗漏がないためににはそういう省令なり規則なりできちんと制定をすべきです。それは制定がしてあれば、どんな評議員に変化があろうとも、あるいは文部省の監督側の方たちがどうかわらうとも、一応の基準というものはあるわけですか。これらは正常な運営というのも期待できますよ。それは国民に対する一つの義務だと思う。将来そういう点で十分お考えになるお気持はありませんか。

○政府委員(福田繁君) 先ほど申し上げたとおりでございますが、これは教育会館 자체が運営の方針としてはきめられた方針等について何か定款等に掲げておきたいということであれば、これはまた別の問題でございますが、定款に基本的な考え方というものを書く場合も絶対ではございません。そういう点は十分今後注意をしてまいりたいと考えております。

○加瀬完君 私はいま教育会館の代表に聞いているんじゃない。教育会館と評議員に勝手なことを言わせ勝手なことを相談してもいいようなことをさせておいて良識に待つといったって、それは法制定の手続としてははなはだ不備じゃないです。

だつて監督の基準というものは明確にすべきだ。あるいは監督の基準に違反しないよう、みずから運営規定をこなす会館につくらせる義務がある。将来この点は研究をして、少なくも事態の経過によって監督の方針や内容が変わることのないようにしていただきたいと思います。

○加瀬完君 さらに一点伺いたいの

は、施設設備を提供するということが

とでしよう。第一に、技術的なものと

か、科学的なものとかという施設の提

供というものを考えなければなりません

うものに、会館のそいつた予算

を担当させようと、そんな考

えは毛頭ございません

ございません。いかなる場合にも教師

の資質の向上をはかるという場合に

されは会館につくらせる義務がある。将来この点は研究をして、少なくも事態の経過によって監督の方針や内容が変わることのないようにしていたいと思いますが、大臣いかがですか。

○国務大臣(灘尾弘吉君) 御趣旨はよくわかるわけでございますが、ただ、私もとしましては、先ほどお尋ねになりましたような事柄については、あらためて規定を設ける必要のないことだ、当然のことだというふうに思つておるわけであります。したがつて、それに基づいての何か基準をつくるとか、規則をつくるとかというふうなことは、いま考えておるわけですが、これがいつた方針等について何か定款等に掲げておきたいということであれば、これがまた別の問題でございますが、定款に基本的な考え方というものを書く場合も絶対ではございません。そういう

か、規則をつくるとかというふうなことは、いま考えておるわけじやございません。国立教育会館の運営の実態といふものに対して常に注意を怠らずに、われわれがいわば監督の立場で見守つておれば大体よろしいのじやないかと。思ひのあります。ただ、非常に熱心に言つていらっしゃいます。決してその御趣旨がどうとかこうとかというわけじやございません。御心配の点はわからわけでございます。そういうこと

も、教育会館での講習会は、政府の人づくり政策による徳性の涵養とか、愛國心の養成といったいわゆる精神面の人づくりのため、これが養成の任にかかるわけでございます。そういうことありますならば、いまのような問題につきましては、今後十分、文部省といたしましても御趣旨のあるところを強調だけでは質質の向上というものを、精神面の強調だけでは質質の向上といふことではな

い、これは一応了解をいたしました。しかし、考え方にはどうも精神主義が強過ぎる。金がからなくて、精神面のかなうような教師をつくることではな

い、これは一応了解をいたしました。

○国務大臣(灘尾弘吉君) どうも精神

精神といふことをおっしゃるのでございますが、私はいかなる場合にも、この精神の問題は忘れるわけにはいかぬ精神主義過ぎて心配なんです。これは大臣、将来どうお考えになりますか。彼らがこの教育会館でうんとクローズ・アップされてサービスをされると、どうも底をついている。ですから、ますますこういう教育は低下しますよ。したがつて、これらに対するサービスの日本では必要だと思います。そこ

は会館が発足いたしまして十分検討してもらいたいと考えておるわけでござります。

○政府委員(福田繁君) 私どももでき

る限り御趣旨のような設備を充実した

いと考えております。しかし、これ

は、何もある程度教育会館を持たなく

たつて研究ができる。しかし、どうし

ても数学の先生、理科の先生というの

は、高等学校どころじゃない、中学校

だつて底をついている。ですから、ま

すますこういう教育は低下しますよ。

したがつて、これらに対するサービス

といふものや養成というものが一番現

状の日本では必要だと思います。そ

れらがこの教育会館でうんとクロ

ーズ・アップされてサービスをされると、どうも底をついている。ですから、ま

すますこういう教育は低下しますよ。

したがつて、これらに対するサービス

といふものや養成というものが一番現

状の日本では必要だと思います。そ

れらがこの教育会館でうんとクロ

</div

は、技術の面もござりますけれども、やはり人間的にりっぱな人になつてもらわなきやならぬという意味合いにおきまして、いかなる研修の場におきましても、そういうことは頭になければならない。こういうふうに考えますけれども、特別にこの教育会館によつて特別な精神教育でもやるうというふうにましてもそういうことは頭になければならない。ひとつおとり願わいようにお願いしたいと思うのです。それから、ただいまの御意見でござりますが、私たちはひつとも御意見だと思つわけでもござります。われわれとしましては、国立教育会館でいろいろな、特に教育技術に関するような問題につきまして設備を整えて、そして内容のあるものをやつしていくということとは非常にけつこうなことだと思うのであります。率直に申し上げますと、そこまでは当分いけるかどうかという問題がむしろあるんじやないか。教育会館が今後一つのこういう特殊の法人といたしまして運営をしてまいります上に、どの程度の財政上の力があるかというふうな問題もあるかと思います。私どもとしまして、もちろん教育会館のそういう意味における援助といつても、問題につきましては十分考えてまいらなければならぬと思いますけれども、今後の実際問題としての推移といつものを見ながら考えていかなければならぬと思うのであります。まだ分はそういたいことは教育会館では独自なものとしてはなかなかできにくいくらいやなかろうかというふうな心配すらいたしております。実際発

足してみまして、政府その他のいわゆる第一号の仕事がどの程度あるか、また教育会館独自で施設を活用する余地がどの程度あるかどうかということころが、明らかに合せて考えていかなければならぬと思うのでありますて、御趣旨につきましては異存はございません。

○加瀬完君 これで質問を終わります。が、何も、教育というものは一つの精神活動ですから、精神がゼロでいいということじやない。しかし、精神面の強調などということをいま教育改革の面で取り上げている例といふのは少なくとも、もっと具体的な教育諸条件の整備でござりますとか、あるいは教育の長期計画の面でありますとか、そういったふたように、人材養成計画といつても、日本のようくに予算もなければ、あるいは財政の裏づけも少なくて、ある程度安上がりな精神主義で片づけようという傾向は非常になくなってきていいんじやないか。特に技術訓練とか、科学訓練とかいうものではずいぶん金をかけている。ですから、そういう方向に教育会館も予算の幅をふとらしていただきたいということなんでありますて、これはぜひ各国の教育改革の情勢というものについても文部省も御検討をいただきたいと思うわけです。大体この程度です。

○委員長(中野文門君) 他に御発言もなければ、質疑は尽きたものと認めて御異議ございませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(中野文門君) 御異議ないと認め、これより討論に入ります。

御意見のおありの方は賛否を明らかにしてお述べを願います。なお、修正意見のある方は討論中にお述べを願い

○吉江勝保君 私はこの際、本法案に對しまして修正の動議を提出いたしました。修正案文を先に朗読いたします。

国立教育会館法案の一部を次のように修正する。

第二十条第一項第一号を次のよう

に改める。

二 その設置する研修施設を利用して、前号に掲げる者の資質の向上のため必要な業務を行なうこと。

以上でございます。

本法案の審議にあたりまして、この第二十条第一項第二号につきまして熱心な質疑答弁がかわされてまいったのであります。が、その間、自社両党の間におきました協議をいたしまして、この第一号の修正につきまして、ただいま朗読いたしましたような修正案文に合意に達しましたので、ここに便宜私から提案をいたしまして、御賛同を賜わりたいと思います。

○委員長(中野文門君) 他に御意見もないようですから、討論は終局したものと認めて御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(中野文門君) 御異議ないと認め、これより国立教育会館法案について採決に入ります。

まず、討論中になりました吉江君提出の修正案を問題に供します。

吉江君提出の修正案に賛成の方の举手を願います。

〔賛成者挙手〕

○委員長(中野文門君) 多数と認めます。よつて、吉江君提出の修正案は可決されました。

次に、ただいま可決されました修正

○委員長(中野文門君) なお、議長に提出すべき報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長(中野文門君) 御異議ないと認め、さよう決定いたします。

本日の委員会はこれをもつて散会いたします。

午前十一時五十八分散会

県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 増田 静 紹介議員 日高 広為君 この請願の趣旨は、第二二二一九号と同じである。	第一五三九号 昭和三十九年五月八日受理 日本学校安全会法の一部改正に関する請願 請願者 岐阜市菊地町一ノ一五 いづみ幼稚園内岐阜県私立幼稚園連合会内 浅野龍教 紹介議員 田中 啓一君 この請願の趣旨は、第二二二一九号と同一である。	第二五四一号 昭和三十九年五月八日受理 幼稚園教員確保に関する請願 請願者 鹿児島市松原町一三三 県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 増田 静 紹介議員 日高 広為君 この請願の趣旨は、第二二二二〇号と同じである。
第二五九二号 昭和三十九年五月十日受理 日本学校安全会法の一部改正に関する請願 請願者 富山市赤江町二七藤園 幼稚園内富山県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 鈴木福子 紹介議員 館 哲二君 この請願の趣旨は、第二二二一九号と同じである。	第二五九三号 昭和三十九年五月十日受理 幼稚園教員確保に関する請願 請願者 富山市赤江町二七藤園 幼稚園内富山県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 鈴木福子 紹介議員 館 哲二君 この請願の趣旨は、第二二二一〇号と同じである。	第二五九四号 昭和三十九年五月十日受理 私立幼稚園園児の父兄の教育費二重負担解消に関する請願 請願者 富山市赤江町二七藤園 幼稚園内富山県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 鈴木福子 紹介議員 館 哲二君 この請願の趣旨は、第二二二二号と同じである。
第二五四二号 昭和三十九年五月八日受理 私立幼稚園園児の父兄の教育費二重負担解消に関する請願 請願者 鹿児島市松原町一三三 県私立幼稚園 P.T.A.連合会内 増田 静 紹介議員 日高 広為君 この請願の趣旨は、第二二二二二号と同じである。	第二五五五号 昭和三十九年五月九日受理 靖国神社の国家護持に関する請願 請願者 神奈川県津久井郡津久井町三ヶ木一、一二〇 本田三七外六千七百三 十一名 紹介議員 河野謙三君 この請願の趣旨は、第四〇三号と同じである。	第二五五八号 昭和三十九年五月九日受理 靖国神社の国家護持に関する請願 請願者 立岩 宇都宮進外二百一名 野上 進君 この請願の趣旨は、第四〇三号と同じである。
第二五四〇号 昭和三十九年五月八日受理 幼稚園教員確保に関する請願 請願者 岐阜市菊地町一ノ一五 いづみ幼稚園内岐阜県私立幼稚園連合会内 浅野龍教 紹介議員 田中 啓一君 この請願の趣旨は、第二二二二二号と同じである。	第二五五九号 昭和三十九年五月九日受理 靖国神社の国家護持に関する請願 請願者 三横田義久外千九十三 名 林田 正治君 この請願の趣旨は、第四〇三号と同じである。	第二五八六号 昭和三十九年五月十日受理 八月十五日を平和の日に制定するの請願 請願者 大阪市天王寺区勝山通 三ノ四八 福原常蔵外 五十二名 紹介議員 田上 松鶴君 この請願の趣旨は、第一七七二号と同じである。
第二五四三号 昭和三十九年五月八日受理 私立幼稚園園児の父兄の教育費二重負担解消に関する請願 請願者 斎藤外千百六十六名 紹介議員 北口 龍徳君 この請願の趣旨は、第二二二〇号と同じである。	第二五六六号 昭和三十九年五月九日受理 靖国神社の国家護持に関する請願 請願者 熊本県下益城郡松橋町 大字松橋一七 野崎 スガ子外千百六十六名 紹介議員 郡 祐一君 この請願の趣旨は、第九〇三号と同じである。	第二五六二号 昭和三十九年五月九日受理 建国記念の日制定に関する請願 請願者 北海道上川郡東柄栖村 字近文十線二十一号 青木昇外四名 紹介議員 郡 祐一君 この請願の趣旨は、第九〇三号と同じである。

昭和三十九年六月一日印刷

昭和三十九年六月三日發行

參議院事務局

印刷者 大藏省印刷局